※ 一部非公開

令和８年度入学試験問題（前期日程）

小　論　文

人文社会学部　人間社会学科

注　意　事　項

1．受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2．解答は，必ず解答用紙に記入すること。
3．解答用紙の他に，下書き用紙を配付するので，取り違えないよう注意すること。
4．解答時間は，150 分である。
5．横書き，鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。
6．解答する際の字体は楷書とし，ていねいに書くこと。

問　　題

以下の文章は，勅使河原真衣（著）『働くということ「能力主義」を超えて』からの抜粋である。この文章を読み，次の問いに答えなさい。

問　この文章で，筆者はどのようなことを主張しているか。まずその論旨を示した上で，あなた自身の考えを，自身の経験や見聞きしたことを取り上げながら，1,000 字以上，1,200 字以内で述べなさい。

※ 非公開

※ 非公開

※ 非公開

※ 非公開

※ 非公開

（勅使河原真衣（2024）.『働くということ「能力主義」を超えて』　集英社新書，13～24 ページ，抜粋・一部改変）

注釈

（１）メタ認知：考える，感じる，記憶する，判断するなどの自身の認知活動を客観的にとらえること。

（２）弥縫策：一時しのぎの対策や策略。とりつくろいの策。

令和８年度入学試験問題（前期日程）

小　論　文

人文社会学部　人間社会学科

出 題 の 意 図

資料では，現代社会があらゆる場面で「選ばれること」を当然とし，その評価や選抜の仕組みが人々に無自覚に内面化されていることが論じられている。筆者は，こうした構造は個人を絶えず競争と不安にさらし，制度の正当性を問う視点を奪っているとしており，能力主義的な価値観や制度を無批判に受け継ぐのではなく，その妥当性を問い直し，次世代に向けて新たな価値観や仕組みを模索すべきだと主張する。

受験者には，そうした社会構造への批判的な視点を持ち，自らの経験や社会で見聞きした具体的事象をもとに，自分の立場を論理的に構築し論じさせる。それにより，本学科のアドミッション・ポリシーに示された誰もが個人の尊厳を保ち，自由・公平，そして安心・安全に生きることができる社会を形成する姿勢，思考力，判断力・表現力をみようとするものである。